

News Release

報道関係者各位

～「美しい和のホテル」で良い初夢を！～ お正月の縁起物『初夢枕札』プレゼントのお知らせ

2021年11月15日/ 庭のホテル 東京（所在地:千代田区神田三崎町1-1-16 /総支配人:海老沼 悟^{うへひま さし}）
では、新たな年をホテルでお迎えくださるお客様への感謝と、新しい一年の幸運を願って、1月2日の夜、枕の下に敷いて眠ると良い初夢が見られ、その1年間が幸せになるといわれる「初夢枕札（はつゆめまくらふだ）」を、年末年始期間中（12/31～1/2）ご宿泊のお客様にプレゼントいたします。



今回の企画は、明治36年（1903年）創業のカレンダーメーカー 株式会社トーダンの協力によるもので、1月2日の夜、枕の下に縁起物が描かれた御札（おふだ）を敷いて眠ると、良い初夢が見られ、その1年間が幸せになるといわれる室町時代から続く習慣を「初夢枕札」という形で同社が現代に蘇らせました。

庭のホテル 東京では、新たな年をホテルでお迎えくださるお客様への感謝と、新しい一年の幸運を願って、また、古くから続く日本のお正月ならではの習慣を広く知っていただきたいという思いから、年末年始期間、ホテルにご宿泊くださるお客様に、同社製品の「初夢枕札」をプレゼントすることとなりました。

御札の裏面には、「初夢枕札」の由緒書きと、願い事が書き込める枠もございます。長引くコロナ禍の収束を願い、沢山の方々にご利用いただけましたら幸いです。

≪「初夢枕札」の配布について≫

配布期間： 2021年12月31日（金）～2022年1月2日（日）

配布対象： 上記期間、庭のホテル 東京にご宿泊のお客様

（※数に限りがございます。品切れの際はご了承ください。）

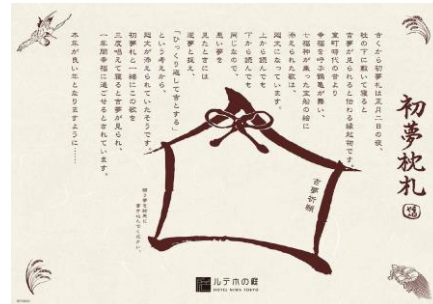
◀「初夢枕札」とは▶

日本では、室町時代から、初夢に良い夢を見られるように、宝船や七福神など縁起の良い絵柄が描かれた御札を枕の下に敷いて寝る習慣がありました。それは「初夢枕」とも言われ、地方によっては神棚に祀って一年の幸せを願うところもありました。

御札には歌が添えられており、三度唱えてから眠ると良い夢が見られると言われています。また、その歌は上から読んでも下から読んでも同じ文章になる廻文となっており、悪い夢を見た時には、逆夢と捉えて「ひっくり返して吉とする」とされています。



表面



裏面

◆日本料理 縁（ゆくり）の本格和食を堪能できる年末年始のおすすめ宿泊プラン

○12/31 ご宿泊 『年越し膳』付き

1泊1名様 22,000円～（税・サービス料込）

ディナー/「日本料理 縁」の『年越し膳』・朝食/「ダイニング 流」の朝食ブッフェ

○1/1～1/2 ご宿泊 『新春会席』付き

1泊1名様 21,000円～（税・サービス料込）

ディナー/「日本料理 縁」の『新春会席』・朝食/「ダイニング 流」の朝食ブッフェ

○12/31～1/2 ご宿泊 『雑煮膳』付き

1泊1名様 12,000円～（税・サービス料込）

朝食/「日本料理 縁」の『雑煮膳』



※上記料金は1室2名様ご利用時の場合

➤ 株式会社トーダンについて

団扇、扇子を製造販売する「東京団扇合名会社」として、1903年（明治36年）に創業。

現在は、カレンダー専門メーカーとして、高品質で独自性のある商品を企画製造販売しており、日本の伝統文化を伝える縁起物や民芸品を現代風にアレンジした商品の製造販売も手掛けています。

<https://www.todan.co.jp/>

協力：株式会社フリーマン

◆庭のホテル 東京 について

2009年5月開業。「美しいモダンな和」をコンセプトに、JR 水道橋駅より徒歩3分と交通至便ながら緑溢れる静かな立地と、日本の伝統美を追求した精緻な空間が国内外のゲストから高い評価をいただいております。贅沢さよりも上質さにこだわった都会の隠れ家で、ゆったり落ち着いた大人の時間をお過ごしください。

【所在地】 東京都千代田区神田三崎町1-1-16

【公式 HP】 <https://www.hotelniwa.jp/>

«本リリースに関するお問い合わせ»

庭のホテル 東京 広報担当/ 赤羽

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1-1-16

TEL. 03-3295-4313 FAX 03-3295-3330 E-Mail pr@hotelniwa.jp